

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	LEIF西宮				公表日	R8年 2月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	施設のレイアウトを工夫してより室内活動を充実したい カーペットが剥がれている箇所があるので、修繕必要かと思えます	室内のレイアウトを工夫する。 カーペットについては、修繕に努めて怪我防止に繋げる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	たまに人数が少ない時がある より充実した配置が出来るように採用を強化する 指導員の人数も考え、室内・屋外活動が安全に取り組めるように配置している。 指導員5人は欲しいです	採用強化を継続して行き、指導員の配置の充実に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	相談・静養室をより安心できる環境にしたい 掲示物を減らしてまとめたり、導線を意識した配置に改善している。	相談・静養室の設置を検討中。設置に向けて引き続き、計画を立て、より充実した生活空間を整える。 また、掲示物や導線を整え、環境整備に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	掃除が怠っている時がある 3年以上が経過したので細かい舗装は検討していきたい 室内での活動がなくても、毎日清掃を行う必要があると感じている。	普段の清掃が欠けないような改善策を考え、子どもたちが清潔な環境で過ごせるように改善する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	部屋が少ない 職員室を活用することが多いが、相談・静養室を向上させていく 透明カーテンなどが必要	相談・静養室の設置を検討中。設置に向けて引き続き、計画を立て、より充実した生活空間を整える
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	上手く回っていない 毎日振り返りと当日計画を話し合う時間を設けている 話し合いが密にできていると感じる	日々の活動に対する振り返りや個別支援計画の見直しから、実践に繋げています。 シフト上、その日のMTGに参加できなかった指導員への共有を強化し、更なる向上に繋がりたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	自己評価の公表がベースだが、面談時も活用している	今後も保護者様等の意向の把握に努め、迅速かつ的確な業務改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	個別面談と毎日振り返りと当日計画を話し合う全体MTG時間を設けている 常時コミュニケーションを絶やさないように心がけている。	引き続き、毎日のMTGを欠かさず行き、意見等を把握し、業務改善に繋げていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	施設運営の向上になるので今後検討していく	第三者による外部評価を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	6	施設運営の向上になるので今後検討していく	施設運営の向上になるので、今後も職員の資質向上を図るための研修を取り入れていく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	定例で毎月行っている。来期は実践訓練を強化していきたい	支援プログラムの作成、公表は行っていますが、より分かりやすく公表できるように努める
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	契約時での伝達、HPに公表 定期的な発信方法も検討していきたい	引き続き、支援と目的が明確な支援計画書の作成に努める
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に全体で行っている。 指導員がより関わる環境に昇華していきたい 児発管を中心に会議を行い、意見交換ができていると感じる	引き続き、児童発達支援管理責任者を中心に指導員全体で計画書作成に努める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	日々の記録、療育から引き続き深く検討していく	引き続き、計画書の共有を徹底し、計画書に沿った支援を提供する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	クラウド共有から素早く確認出来る環境を構築している 上記の内容がすぐに想起されないため。	引き続き、記録・分析・評価に努める。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	家族・移行・地域の支援・連携により児童発達支援管理責任者を中心に取り組んでいきたい	インフォーマルな支援、将来を見据えた支援等を踏まえ、計画書の作成に努める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	明確な役割分担から事前準備と確認を行い実践している	引き続き、MTGを設定し、指導員全員で活動プログラムの立案に努める。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	より様々なプログラムが行えるように職員と話し合う場をつくっていく	引き続き、指導員全員で案を出し合い、活動プログラムの充実化に努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	お子様の成長に合わせて個別と集団のバランスを心がけていく	子どもの状況に応じた計画作成を行うとともに、支援計画書の閲覧により適切な支援を継続的に行えるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	当日の支援前にMTGを全体で必ず行っている	引き続き、支援前のMTGを欠かさず行い、連携した支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終了後が難しい場合は翌日に必ず実施している	引き続き、毎日の振り返りを行い、より良い支援を目指す。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	個々の支援記録と合わせて全体での検証・改善を行えている 怪我や個別の記録を作れるようにする	日々の記録を欠かさずに残していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に行えてる。質の向上を目指して活動していく	半年に1回モニタリングを行っている。 引き続き、適切な見直しに努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	地域交流の機会がお出かけのみになるので平日の放課後の取り組みに組み込んでいける施策を検討したい	地域交流の機会を検討していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	選択肢を複数もった上で支援・プログラムを提供出来ている。質を向上させたい	今後も自己決定する力を育てるよう支援の質の向上に努める。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に職員の参画も今期は行えた。継続していく	引き続き、子どもの状況把握を徹底し、積極的に会議に参画する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	連携体制はある。より活動内で連携していける施策を検討していきたい	引き続き、保護者や関係機関との連携を図り、支援を行う体制を整える。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	ベーシックな部分は行えている。より支援に繋げていく 下校時間の把握をしたい	引き続き、学校との情報共有、連絡調整を適切に行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	こちらから情報をより取りにいく為に連絡を定期的に行っていく必要がある	就学前の関係機関との連携を図り、継続的な支援に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	該当者なし、準備は並行して行っていく まだ事例がない	今後の該当者を想定して、準備を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	西児連に参画し、機会を設けている	引き続き、西児連に参画し、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	地域との交流の場創りが課題。立案し1度実施していきたい	地域交流の機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	スケジュールの事前調整から参加の機会を増やしていく	スケジュールを調整し、協議会等への参加を増やしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡ツール、面談、送迎時など多様な場面で共有を心がけている。継続	引き続き、保護者への子どもの発達状況を密に伝え、共通理解に努める。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	祝日の活動で実施。平日やその他の場面で機会を設けて発信していきたい	家族支援に繋がる研修等の開催を検討する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	面談、契約時が主になるが、定期的な発信から理解を深めていただける環境を構築していく	今後も、丁寧な説明に努める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	お子様自身の参加がスケジュール(学校)で行えていない点は創意工夫が必要	引き続き、本人、保護者の意志を尊重した支援計画書作成に努める
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	引き続き継続していく	引継ぎ継続していく

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	回数やこちらからのアプローチの機会を増やしていきたい	必要に応じて回数を増やし、保護者支援に努める。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	保護者会を実施。来期も様々な場面で交流の機会を創造していく 保護者会を実施したい まだ1度しか開催されていないため、定期的に必要であると感じる	保護者会等を検討し、保護者同士が交流できる機会を設ける。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	大きな苦情は無いが小さな相談、悩みも職員で共有し、改善策を講じて運営を行っていく	引き続き、迅速かつ適切な対応を行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	より工夫して活用することで様々な観点から情報を共有できる体制に昇華していきたい	引き続き、HPやSNS等を活用し、より充実した連絡体制を整える。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	全社として取り組んでいる。細部までこだわり質を向上させていく	引き続き、個人情報の取扱いに留意する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	視覚からの情報伝達を増やししながらより配慮の上で意思疎通を行える環境にしていきたい	引き続き、意思の疎通を図り、本人・保護者様が伝えやすい環境を整える。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	ご家族までの招待なので、地域との連携も視野に入れて施策を実践していく	地域との連携を図り、交流の機会を設ける。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	訓練の質にこだわり来期は現場での実施内容を向上させていく 話し合いはできている。	引き続き、訓練の質の向上を目指す。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	訓練の質にこだわり来期は現場での実施内容を向上させていく	今後もBCPの作成を策定し、定期的な訓練を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	リスト化しクラウドで共有、毎日確認を行っている	定期的に保護者への確認を行い、更新、確認を行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	リスト化しクラウドで共有、毎日確認、徹底を行っている 医師の指示書について確認できていない。	定期的に保護者への確認を行い、更新、確認を行う。 医師の指示書は、保護者から聞き取り、適切な対応に努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	より実践を想定した訓練を来期は強化していく 安全計画とは何か確認する必要がある。	定期的に安全計画を見直し、安全管理に努める。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	発信できているが、強化出来ない印象。周知方法を見直し向上させていきたい	安全計画を指導員で見直し、しっかり周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	クラウドを活用し、日々職員間でスピード感を持って話し合い、改善できる環境にある ヒヤリハット報告書を作成し、共有を行なっている。	引き続き、ヒヤリハットの共有を徹底し、再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	多く機会を設けている。日々の活動内でもより触れて話し合い高めていきたい	定期的に虐待防止研修の時間を設け、適切な対応ができるように努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	行えている。より現場に即した具体的な伝え方に向上させていきたい。	計画書への記載はできている。引き続き、保護者様や連携機関との連携を図り、慎重に対応していく。	